

2016年3月17日

院長からの急告

C型肝炎治療の実践中です！

一昨年からインターフェロンフリーの経口剤（注射でなく口から飲むだけ）によるC型肝炎治療が全国的に始まっています。

もちろん、湘南東部総合病院には肝臓専門医が二名在職して、積極的に治療を行っています。この治療法と結果についてご説明します。

1. 肝臓専門医からの診断書を保健所に他の書類と一緒に提出すると約1カ月から1カ月半で肝炎治療受給書を手に入れることができます。
2. 受給書で治療する場合は、個人の所得に依りますが月々一万円もしくは二万円の負担で済みます。
3. この4月から薬価が改正（ハーボニー®492万円前後、ソバルディ®378万円前後、ヴィキラックス®414万円前後）されて全体の三分の二程度になりますが、それでもかなり高価なお薬です。
4. 診察料、薬剤費用を含めて上記金額の負担だけで済みます。
5. 治療期間は3か月です。入院は原則なしで外来通院にて治療を行います。
6. 湘南東部総合病院では今までに100例の患者に治療を施しました。
(平成28年3月まで)
7. 第一世代のダクルインザ®とスンペプラ®の経口二剤（遺伝子型1型）6か月投与例は30例でした。3例が肝炎ウイルスの再発を認めましたが、近々他の経口治療薬を用いて公費で再度治療する予定であります。この第一世代のお薬は少し腎臓の機能が落ちている方に今後は使う予定であります。
8. 遺伝子型1型への第二世代のハーボニー®（ソフォソボビルとレディパスビル）の経口二剤3か月投与例は37例でした。副作用で中止例は1例だけでした。それ以外の症例はほとんど投与最終日にはウイルスは血中から消失しておりました。
9. 第二世代で遺伝子型2型へのソバルディ®とリバビリンの経口二剤3か月投与例は33例でした。貧血の副作用でリバビリンの投与量を下げましたが全例、投与終了時にはウイルスは消失しております。
10. 少し適応を考えて新規ヴィキラックス®も投与開始予定であります。
11. 完全にウイルス消失したとする判定は投与終了後6か月目の血中HCVRNAで判定しますので、最終判定結果は追って公表いたします。

このようにいろいろなお薬を患者さんの病状に応じて適切なお薬を導入します。
慢性肝炎だけでなく肝硬変にも適応となっております。

自分自身が C 型肝炎に感染しているかどうかは血液検査でしか分かりません。
一度だけでも血液検査をお受けください。また C 型肝炎ウイルス陽性を示す
HCV 抗体陽性にもかかわらず仕事の関係で診察や治療を受けることができない
方、また症状がないからと言って放置されている方々は一度だけ時間を作って
専門医にかかってください。われわれ肝臓専門医が適切なアドバイスをお示し
いたします。

市田隆文【院長】

外来日

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○		○		○
午後		○		○		

平野克治【肝臓病センター長】

外来日

	月	火	水	木	金	土
午前			○		○	
午後	○					

文責 市田隆文